Rで学ぶ 傾向スコア解析入門

@yokkuns: 里 洋平

2011.09.24 第17回R勉強会@東京(#TokyoR)

AGENDA

- 自己紹介
- 傾向スコア解析
 - 実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - 傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

AGENDA

- 自己紹介
- 傾向スコア解析
 - ・実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - 傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

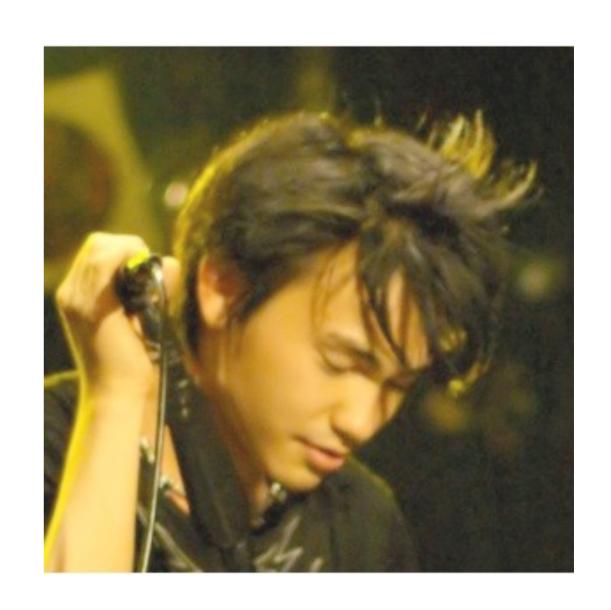
自己紹介

• ID: yokkuns

• 名前:里洋平

データマイニングエンジニア

統計解析 パターン認識 機械学習 データマイニング NLP 金融工学 などを勉強中



Tokyo.Rの主催者





ホーム

ご参加ありがとうございます!

Rパッケージ本執筆





Rパッケージガイドブック [単行本]

図田 昌史 ▼ (著), 荒木 孝治 (その他), 伊藤 康広 (その他), 里 洋平 (その他), 高柳 慎一 (その他), 棚瀬 貴紀 (その他), 谷村 晋 (その他), 中谷 朋昭 (その他), 蓮見 亮 (その他), 林 真広 (その他), 樋口 千洋 (その他), 福島 真太朗 (その他), 独山 文彦 (その他), 横山 貴央 (その他), akira (その他), mickey24 (その他) この商品の最初のレビューを書き込んでください。

価格: ¥ 3,990 通常配送無料 詳細

通常2~4週間以内に発送します。 <u>在庫状況</u>について この商品は、<u>Amazon.co.jp</u> が販売、発送します。 ギフトラッピングを利 用できます。

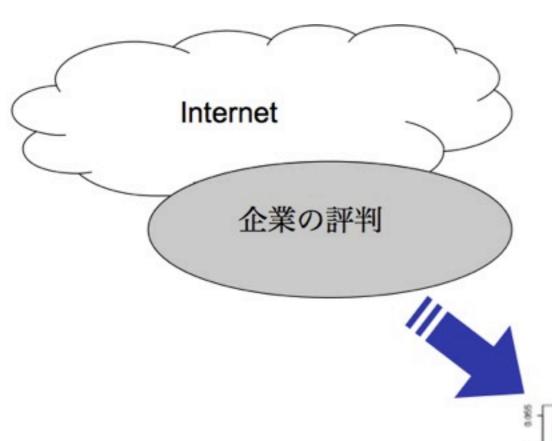
中古品1点¥ 6,133より

動画レコメンド

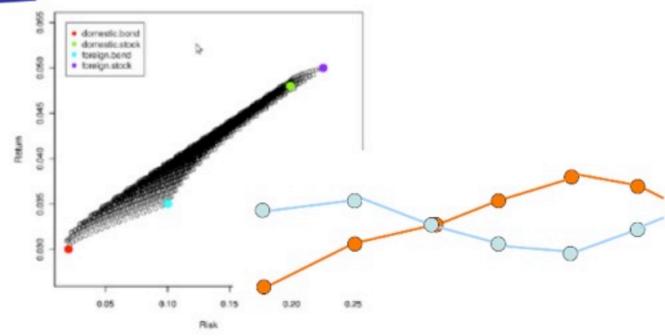


閲覧されてる動画に関連する おすすめ動画を表示

テキストマイニング+金融工学



Web上にある評判情報から 市場予測!



AGENDA

- 自己紹介
- 傾向スコア解析
 - 実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - 傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

実験出来ないデータの因果関係を解析する

3歳神話:子供は3歳までは母親の元で育つ方が社会性・知能発達が向上する

1~3歳まで母親の側



1~3歳に保育園

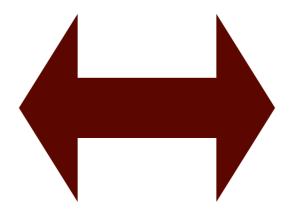
実験出来ないデータの因果関係を解析する

3歳神話:子供は3歳までは母親の元で育つ方が社会性・知能発達が向上する

1~3歳まで母親の側

- ◇親の学歴
- ◇親の収入
- ◇親の職業
- ◇親の教育意欲

8歳時点の 社会性得点・知能検査 を比較

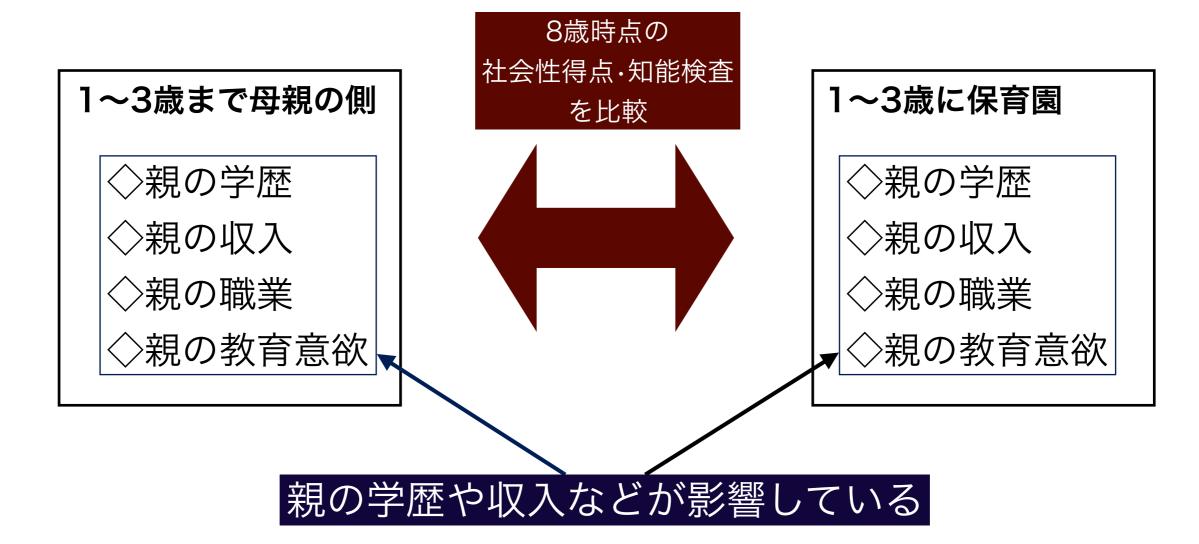


1~3歳に保育園

- ◇親の学歴
- ◇親の収入
- ◇親の職業
- ◇親の教育意欲

実験出来ないデータの因果関係を解析する

3歳神話:子供は3歳までは母親の元で育つ方が社会性・知能発達が向上する

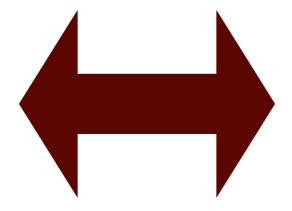


実験出来ないデータの因果関係を解析する

テレビCMの効果測定

TVCMを見たグループ

当該商品の 購買量の比較



TVCMを見てないグループ

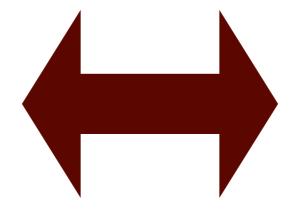
実験出来ないデータの因果関係を解析する

テレビCMの効果測定

TVCMを見たグループ

- ◇購買意欲
- ◇ライフスタイル
- ◇年齢層
- ◇所得

当該商品の 購買量の比較

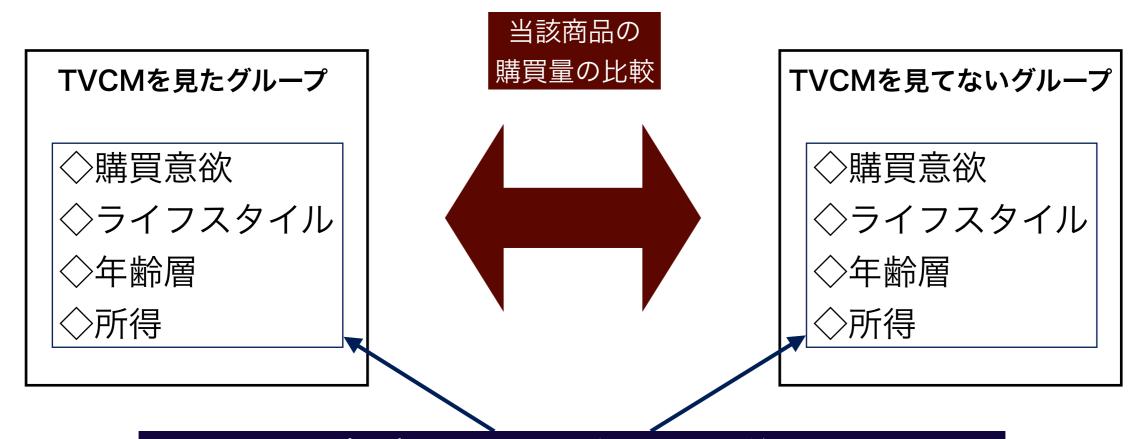


TVCMを見てないグループ

- ◇購買意欲
- ◇ライフスタイル
- ◇年齢層
- ◇所得

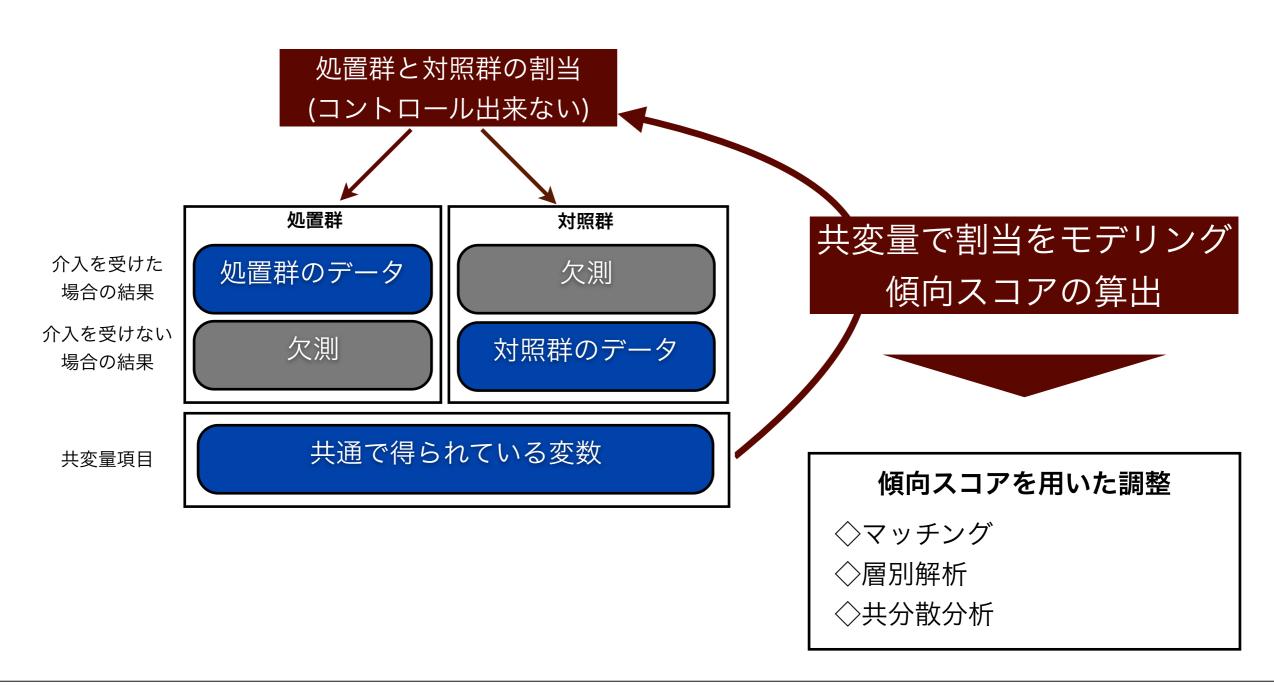
実験出来ないデータの因果関係を解析する

テレビCMの効果測定

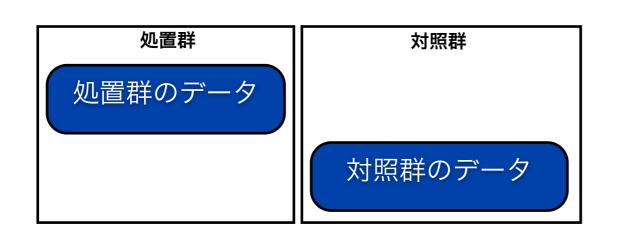


CMの視聴はライフスタイルに影響される 企業ターゲット層に合わせた時間にCMを出稿している

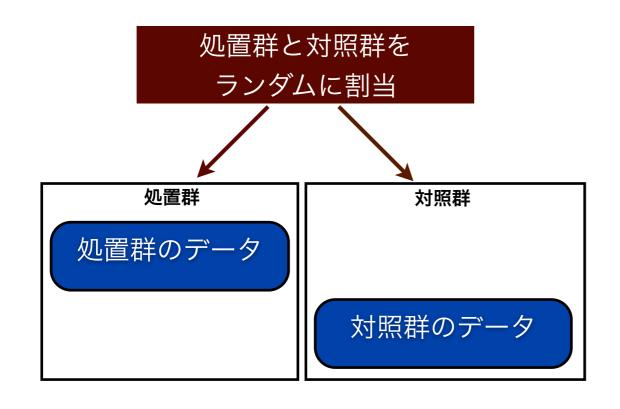
実験出来ないデータの因果関係を解析する



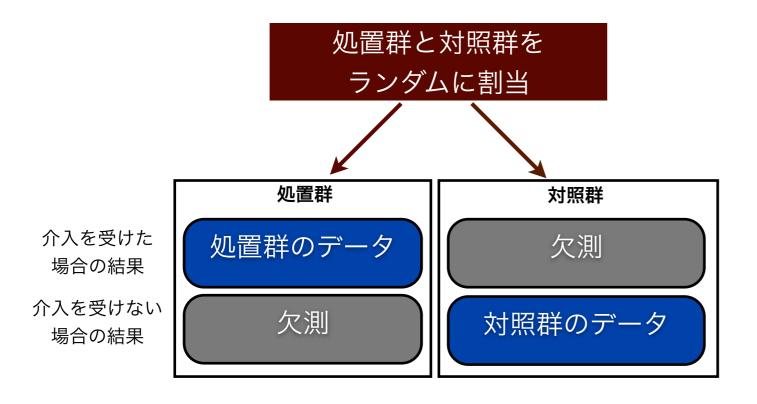
因果効果は単純な処置群と対照群の差になる



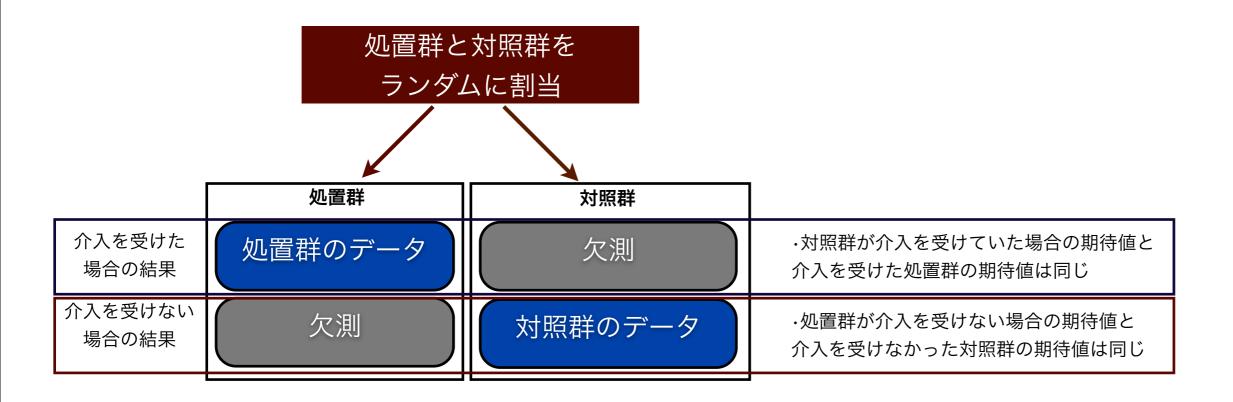
因果効果は単純な処置群と対照群の差になる



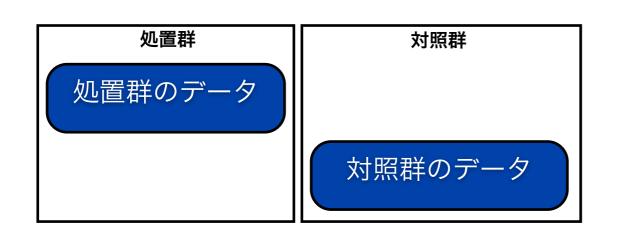
因果効果は単純な処置群と対照群の差になる



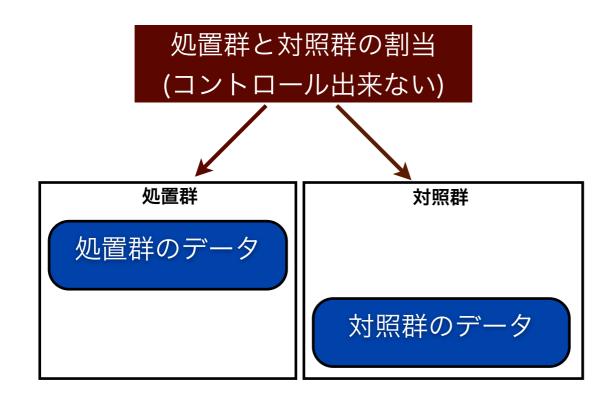
因果効果は単純な処置群と対照群の差になる



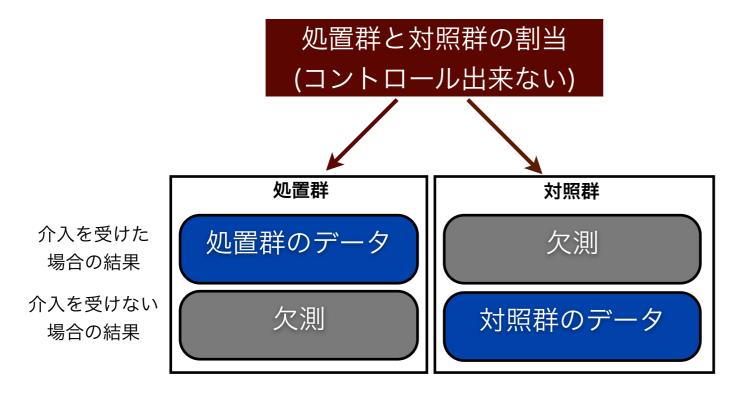
割当によって処置群と対照群に差が生じるため 単純に比較することが出来ない



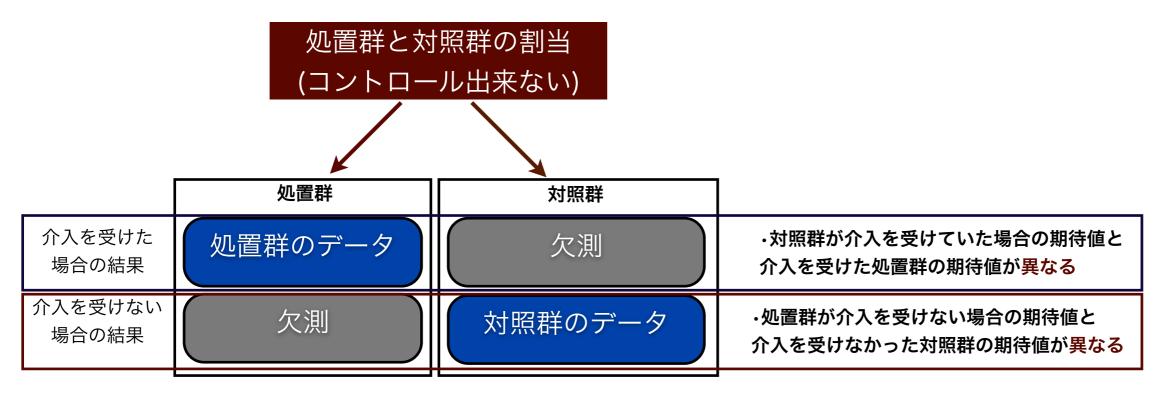
割当によって処置群と対照群に差が生じるため 単純に比較することが出来ない



割当によって処置群と対照群に差が生じるため 単純に比較することが出来ない

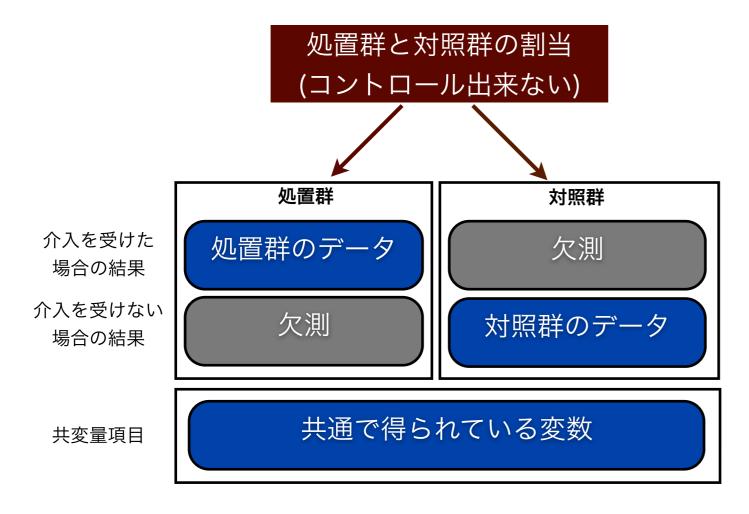


割当によって処置群と対照群に差が生じるため 単純に比較することが出来ない



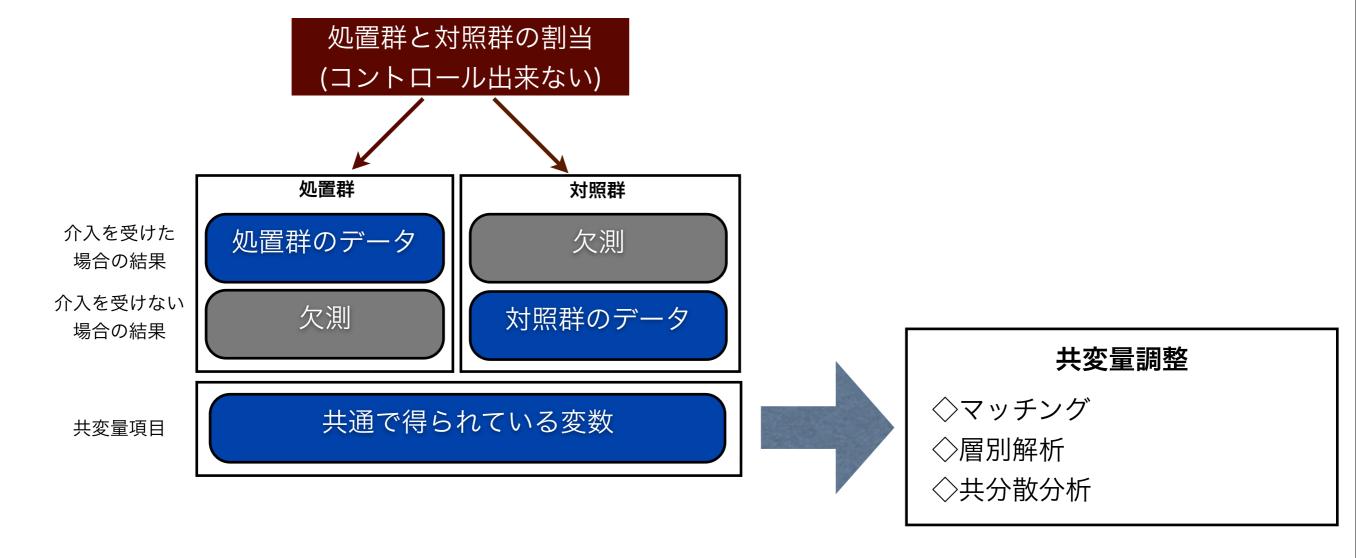
共変量調整

割当や結果変数に影響している共通の変数を用いて 因果効果以外の効果を除去する



共変量調整

割当や結果変数に影響している共通の変数を用いて 因果効果以外の効果を除去する



共変量調整:マッチング

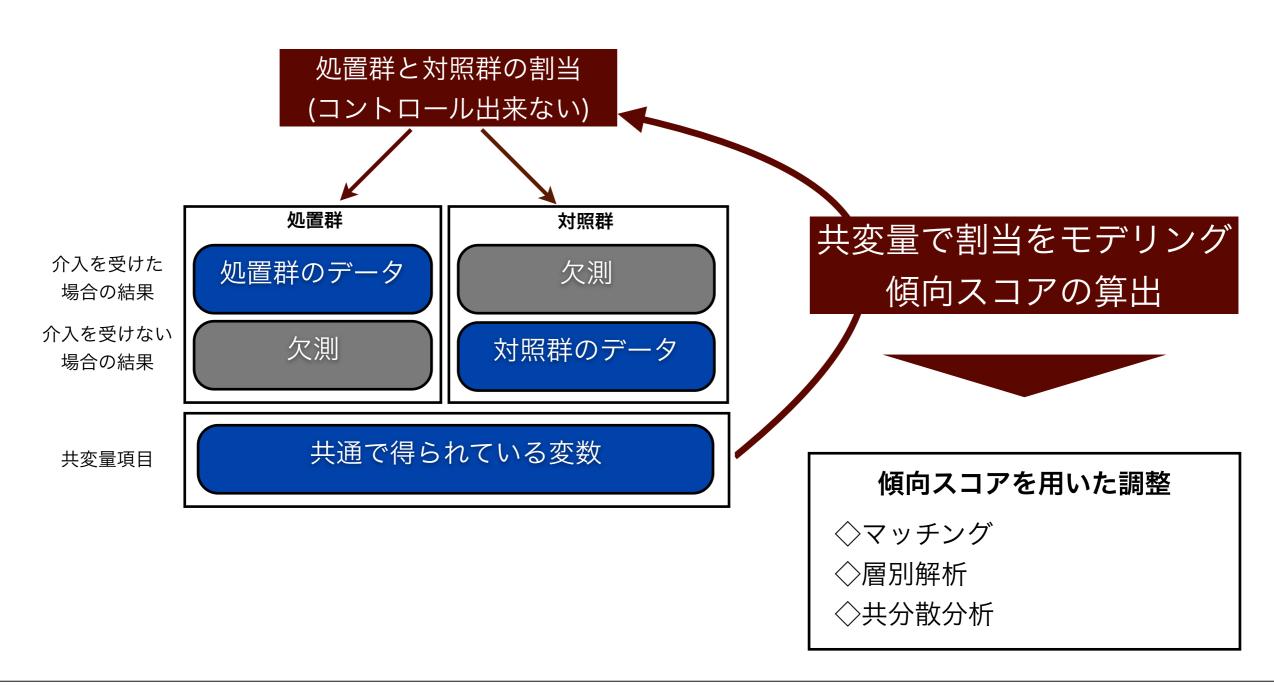
共変量調整:層別解析

共変量調整:回帰モデル

共変量調整の問題点

- マッチング・層別解析での問題
 - 共変量に連続変数があると完全一致のペア は作れない
 - 次元問題
 - サポート問題
- 回帰モデルでの問題点
 - 結果変数と共変量のモデリングが必要
 - 直接因果効果の推定値は得られない

実験出来ないデータの因果関係を解析する



傾向スコアとは

傾向スコアの推定

傾向スコアを用いた調整

- ・マッチング
- 層別解析
- 共分散分析

AGENDA

- 自己紹介
- 傾向スコア解析
 - 実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - 傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

Rによる実行

Rでマッチング実行

```
install.packages("Matching")
    library(Matching)
3
    ##
   ## Matching
   ##
    data(lalonde)
    Y78 <- lalonde$re78
10
    Tre <- lalonde$treat
11
12
    logi <- glm(treat~., data=lalonde[,-9],family=binomial)</pre>
13
    ## default
14
15
    summary(Match(Y=Y78, Tr=Tre,X=logi$fitted))
16
17
    ##
    summary(Match(Y=Y78, Tr=Tre,X=logi$fitted,M=2))
18
19
20
    ## caliper matching
21
    summary(Match(Y=Y78, Tr=Tre,X=logi$fitted,caliper=T))
```

Rでカーネルマッチング実行

```
23
     ##
    ## kernel matching
24
25
    1111
26
    kmy <- lalonde$re74
27
     ivec1 <- lalonde$treat
28
    estp <- logi$fitted
29
    km <- cbind(kmy,estp, ivec1)</pre>
30
    km1 <- subset(km, ivec1==1)</pre>
31
32
    km2 <- subset(km, ivec1==0)</pre>
    km1x \leftarrow km1[,2]
33
34
    km1y \leftarrow km1[,1]
35
    km2x <- km2[,2]
     km2y \le km2[,1]
36
     bw1 \leftarrow 1.06*(nrow(km1))^(-0.2) * sd(km1x)
37
     bw2 \leftarrow 1.06*(nrow(km2))^{(-0.2)} * sd(km2x)
38
     esty1 <- ksmooth(x=km1x,y=km1y,kernel="normal",
39
40
                        bandwidth=bw1,x.points=km2x)
     esty0 <- ksmooth(x=km2x,y=km2y,kernel="normal",
41
                       bandwidth=bw2,x.points=km1x)
42
43
     head(esty1$y)
44
45
46
     head(esty0$y)
47
```

AGENDA

- 自己紹介
- ・傾向スコア解析
 - ・実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - ・傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

次回以降の

発表者・LTを募集しています!

ご清聴ありがとうございました

AGENDA

- 自己紹介
- ・傾向スコア解析
 - ・実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - ・傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

付録

参考文献